



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年2月9日

上場会社名 日本山村硝子株式会社 上場取引所 東
コード番号 5210 URL <https://www.yamamura.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 山村 幸治
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 金原 正晃 TEL 06-4300-6000
四半期報告書提出予定日 2024年2月13日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	55,755	7.7	4,761	875.9	6,706	—	12,490	—
2023年3月期第3四半期	51,748	10.2	487	△53.4	△1,332	—	△894	—

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 15,060百万円 (—%) 2023年3月期第3四半期 553百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	1,223.16	—
2023年3月期第3四半期	△87.59	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	98,520	52,538	53.2
2023年3月期	87,599	37,488	42.6

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 52,382百万円 2023年3月期 37,348百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 有

2024年3月期（予想）期末配当金の内訳 普通配当 30円00銭 記念配当 20円00銭

配当予想の修正については、本日（2024年2月9日）公表いたしました「2024年3月期通期業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	73,000	7.1	4,000	—	5,500	—	11,400	—	1,116.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 有
除外 1社 （社名）山村香港有限公司

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	11,145,249株	2023年3月期	11,145,249株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	933,785株	2023年3月期	933,392株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	10,211,660株	2023年3月期3Q	10,212,529株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

上記の予想に関連する事項は、[添付資料] 3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（2）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、個人消費の持ち直しや企業収益の改善が見られ、一部に足踏みもみられますが緩やかに回復しました。一方で、世界的な金融引締め等が続く中、景気の下振れ懸念があり、先行きは不透明な状況が続いております。

このような中、山村グループでは当連結会計年度より3カ年の新中期経営計画をスタートさせました。新中期経営計画の策定に当たり、従来からある「基本理念」「コーポレート・メッセージ」に「存在意義：人と技術の力で、豊かな社会と快適な生活をつくりだす」を新しく加えて「山村グループの基本哲学（フィロソフィ）」を定め、「グループ経営ビジョン」を「100年先も必要とされる会社」に刷新いたしました。また、持続可能なビジネスモデルの構築に向け、S B T (Science Based Targets) イニシアティブより1.5℃水準短期目標の認定を2023年9月に取得いたしました。これからも様々な課題に長期的に挑戦していく事業基盤が肝要であるとの思いをこめて新中期経営計画は「成長に向けた事業基盤の整備」をテーマとし、「財務基盤の整備」「既存事業を強化する仕組みづくり」「新しい事業を構築する準備」「循環型社会の実現に向けた開発」「従業員が誇りを持って働きたいと思える会社づくり」という5つの経営方針を推進し、グループ一体となって業績向上に取り組んでおります。

事業セグメント別の経営成績は以下のとおりです。

① ガラスびん関連事業

ガラスびん関連事業では、国内ガラスびん業界の出荷量は前年同期比95.2%となりましたが、当社においては夏以降業界同様にガラスびんの出荷量は減少が続いているものの、同業他社の生産設備の縮小の影響もあり前年同期並の出荷量となりました。さらに価格改定や品種構成の影響で販売単価が上昇したことにより、セグメント売上高は36,591百万円（前年同期比9.8%増）と増収となりました。セグメント利益は、当社において労務費や修繕費等の製造固定費の増加がありましたが、販売単価が上昇したことや前第3四半期連結累計期間に損失の発生していた中国の子会社の全持分を譲渡したこと等による良化により、3,838百万円の利益（前年同期は325百万円の利益）と増益となりました。

② プラスチック容器関連事業

プラスチック容器関連事業では、インドネシアの子会社が清算手続き中であることによる売上減少がありましたが、当社の飲料用キャップの出荷の増加や価格改定等による販売単価の上昇、中国の子会社の販売が好調なこと等により、セグメント売上高は5,792百万円（前年同期比13.2%増）と増収となりました。セグメント利益は、人件費等の増加がありましたが、販売単価の上昇や前第3四半期連結累計期間に損失の発生していたインドネシアの子会社が清算手続き中であること等による良化により、400百万円（前年同期は△243百万円の損失）と増益となりました。

③ 物流関連事業

物流関連事業では、新規業務による取扱い物量の増加により、セグメント売上高は11,168百万円（前年同期比1.8%増）と増収となりました。セグメント利益は、取扱い物量の増加や価格改定およびコスト削減等の損益改善により、544百万円（前年同期比26.1%増）と増益となりました。

④ ニューガラス関連事業

ニューガラス関連事業では、当社における電子部品用ガラスや自動車部品用ガラスの出荷は増加しましたが、国内子会社における通信用部品やレーザー用部品の出荷が減少しました。また、台湾の子会社が清算手続き中であることによる販売減少もあり、セグメント売上高は2,089百万円（前年同期比10.4%減）と減収となりました。セグメント利益は、前第3四半期連結累計期間に損失の発生していた台湾の子会社が清算手続き中であることによる良化がありましたが、出荷の減少等により△53百万円の損失（前年同期は△302百万円の損失）となりました。

その他事業には、第1四半期連結会計期間に研究開発部門から独立した植物事業を含み、セグメント売上高は114百万円、セグメント利益は△67百万円の損失となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の連結売上高は55,755百万円（前年同期比7.7%増）と増収となり、連結営業利益は4,761百万円（前年同期比875.9%増）と増益となりました。前連結会計年度末において米国の関連会社が債務超過であることから、同社に係る貸付金および保証類似行為の金額を上限として持分法による投資損失を計上していましたが、第1四半期連結会計期間において、同社が独自の資金調達を行ったため、同社に係る貸付金が全額返済されるとともに、同社に係る保証類似行為が解除されたことにより、持分法による投資利益が大きく改善して1,418百万円（前年同期は持分法による投資損失1,398百万円）となり、連結経常利益は6,706百万円（前年同期は△1,332百万円の損失）と増益となりました。さらに事業構造改革計画に基づき実行した固定資産の譲渡により発生した固定資産売却益や、米国の関連会社の譲渡により発生した関係会社出資金売却益等により特別利益8,434百万円を計上いたしました。法人税等調整額1,705百万円を計上し、この結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は12,490百万円（前年同期は△894百万円の損失）と増益となりました。

（2）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期における通期の業績予想につきましては、当第3四半期までの状況およびその後の経営環境等を勘案して、2023年11月24日公表の業績予想を修正しております。

詳細につきましては、本日（2024年2月9日）公表の「2024年3月期通期業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,647	14,501
受取手形、売掛金及び契約資産	18,414	22,088
商品及び製品	6,049	6,848
仕掛品	254	386
原材料及び貯蔵品	1,818	1,766
その他	1,038	1,162
貸倒引当金	△2	△3
流動資産合計	35,220	46,750
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,484	5,651
機械装置及び運搬具（純額）	8,142	6,817
工具、器具及び備品（純額）	733	890
土地	10,911	10,415
建設仮勘定	401	887
有形固定資産合計	25,672	24,662
無形固定資産		
その他	202	177
無形固定資産合計	202	177
投資その他の資産		
投資有価証券	2,396	2,886
関係会社株式	20,134	21,736
退職給付に係る資産	766	697
繰延税金資産	1,764	121
その他	1,706	1,757
貸倒引当金	△263	△269
投資その他の資産合計	26,504	26,929
固定資産合計	52,379	51,770
資産合計	87,599	98,520

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,958	8,816
短期借入金	11,884	9,747
未払法人税等	376	622
賞与引当金	615	336
事業構造改善引当金	99	—
その他	4,277	4,751
流動負債合計	25,212	24,273
固定負債		
社債	1,000	1,000
長期借入金	18,801	16,279
リース債務	440	448
環境対策引当金	3	1
退職給付に係る負債	3,001	2,766
繰延税金負債	11	217
持分法適用に伴う負債	228	—
その他	1,410	995
固定負債合計	24,898	21,708
負債合計	50,111	45,981
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,074	14,074
資本剰余金	16,625	16,625
利益剰余金	8,287	20,778
自己株式	△1,565	△1,566
株主資本合計	37,422	49,912
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	733	1,075
繰延ヘッジ損益	41	78
為替換算調整勘定	△715	1,506
退職給付に係る調整累計額	△133	△190
その他の包括利益累計額合計	△73	2,469
非支配株主持分	139	156
純資産合計	37,488	52,538
負債純資産合計	87,599	98,520

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	51,748	55,755
売上原価	43,470	43,224
売上総利益	8,277	12,530
販売費及び一般管理費	7,790	7,769
営業利益	487	4,761
営業外収益		
受取利息	28	20
受取配当金	82	503
持分法による投資利益	—	1,418
その他	451	385
営業外収益合計	562	2,327
営業外費用		
支払利息	200	180
持分法による投資損失	1,398	—
租税公課	71	70
その他	711	131
営業外費用合計	2,382	382
経常利益又は経常損失(△)	△1,332	6,706
特別利益		
固定資産売却益	51	5,587
投資有価証券売却益	—	1
関係会社出資金売却益	—	2,101
持分変動利益	—	664
受取補償金	—	79
事業整理損失引当金戻入額	114	—
特別利益合計	166	8,434
特別損失		
固定資産売却損	2	3
固定資産廃棄損	4	4
支払補償金	7	—
事業整理損	537	—
事業構造改善費用	—	128
特別損失合計	552	136
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,718	15,004
法人税、住民税及び事業税	328	787
法人税等調整額	△1,003	1,705
法人税等合計	△674	2,492
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,043	12,512
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△149	21
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△894	12,490

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,043	12,512
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	57	341
繰延ヘッジ損益	0	37
為替換算調整勘定	△222	181
退職給付に係る調整額	△17	△2
持分法適用会社に対する持分相当額	1,778	1,990
その他の包括利益合計	1,596	2,547
四半期包括利益	553	15,060
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	685	15,034
非支配株主に係る四半期包括利益	△132	25

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2022年4月1日 至2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 2
	ガラス びん関 連事業	プラスチ ック容 器関 連事業	物流関 連事業	ニューガ ラス関 連事 業	計		
売上高							
顧客との契約から生 じる収益	33,328	5,115	10,110	2,332	50,886	—	50,886
その他の収益	—	—	861	—	861	—	861
外部顧客への売上高	33,328	5,115	10,971	2,332	51,748	—	51,748
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	523	6,078	6	6,609	△6,609	—
計	33,328	5,639	17,050	2,339	58,357	△6,609	51,748
セグメント利益 又は損失(△)	325	△243	431	△302	212	275	487

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額275百万円には、セグメント間取引消去等98百万円、その他の調整176百万円が含まれております。その他の調整は、報告セグメントに帰属しない全社費用と報告セグメントに計上されている営業外損益調整等です。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

第1四半期連結会計期間において、秦皇島方圓包装玻璃有限公司の全持分を売却したため、みなし売却日を第1四半期連結会計期間末日とし、連結の範囲から除外しております。これにより、前連結会計年度の末日に比べ、当第3四半期連結会計期間の報告セグメントの資産の金額は、「ガラスびん関連事業」において7,010百万円減少しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自2023年4月1日 至2023年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	ガラス びん関 連事業	プラス チック 容器関 連事業	物流関 連事業	ニュー ガラス 関連事 業	計				
売上高									
顧客との契約から生 じる収益	36,591	5,792	10,396	2,089	54,870	114	54,984	—	54,984
その他の収益	—	—	771	—	771	—	771	—	771
外部顧客への売上高	36,591	5,792	11,168	2,089	55,641	114	55,755	—	55,755
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	326	6,565	7	6,899	0	6,899	△6,899	—
計	36,592	6,118	17,733	2,096	62,540	114	62,655	△6,899	55,755
セグメント利益 又は損失 (△)	3,838	400	544	△53	4,730	△67	4,662	98	4,761

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、植物事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額98百万円には、セグメント間取引消去等75百万円、その他の調整23百万円が含まれております。その他の調整は、報告セグメントに帰属しない全社費用と報告セグメントに計上されている営業外損益調整等です。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。